
ムシウタ小説

楽奏

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ムシウタ小説

【Nコード】

N7749T

【作者名】

楽奏

【あらすじ】

その物語は、10年前から始まる――・・・。

その少女は全てを愛し、
全てを憎んだ・・・。

切なく激しい思いが織りなす、

夢見る者達の聖夜の戦記
――
・
・
・
!!

夢隠す影

0 ' 0 夢隠す影

漆黒の闇が、辺りを包む頃――・・・。

「・・・ツチ！、何処行きやがった・・・ツチ！！」

闇に溶ける様な漆黒のコートを纏った数人の人間が、町の裏路地を走りまわっていた・・・。

「まだ、見つからないのか――・・・。」

ゴーグルの無線から声がした。

「ああ・・・。」

人間たちは、それぞれ異形とも言える“何か”を従えていた。

――・・・“虫”。

10年前、突然人類の前に現れた異形のバケモノ・・・。

それらは、人に寄生し 夢を喰らう。

夢を喰われた人間、および寄生した“虫”を殺された人間は、感情を無くした“欠落者”となる。

その姿は、まさしく生きた屍だった。

・・・だが、

“虫”は、寄生した人間の夢を喰らう代わりに、異常の力を授けた。

その、“虫”達を、“虫”を使って排除する秘密機関——・・・。

特別環境保全事務局・・・通称、特環。

彼らは、そういう者達だ。

「クソッ・・・逃げられたか・・・？」

男が悔しそうに言った。

そんな姿を、ビルの上から見下ろす少女が一人・・・。

肩に流れる漆黒の髪・・・。

スラリとした体系を、白と水色のワンピースで包んでる。

遠くからも見ても分かる様な美人だ。

ただ、ひとつを除いては・・・――。

少女の瞳だけが、辺りの闇と溶けていない。

深い、深紅の輝きを放っていた。

そして、やはりこの少女の側にも、“虫”が寄り添っている。

少女の両腕にやっと収まるくらいの大きさをした巨大カマキリ。

純白の体に、薄桃色のベールのようなものを纏い、

頭の部分だけ、黄金の兜のような形だった。

その姿はどこか、花カマキリに似ている。

・・・そして、

花力マキリの瞳も少女と同様に、赤く輝いていた。

「あはは、探してる探してる♪ばかみたあい。」

絶対、見つからないのにね・・・。

少女は、クスクス笑う。

そして、チラリと視線をずらす。

「・・・ざあんねんでしたあー・・・時間切れえー・・・。」

すぐ近くにある、公園の時計を眺めながら、

少女がつまらなそうにいった。

「行こうか、“花隠ーカインー”。」

そう呼びかけると、“虫”・・・“花隠”は低く唸った。

そして、気がつくと

二つの影は消えていた。

（私をみつけて？）

小さな、深紅の笑みとともに・・・。

e n d

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7749t/>

ムシウタ小説

2011年10月9日05時08分発行